

平成5年がん罹患者の5年生存率

平成12年度厚生省がん研究助成金による「地域がん登録」研究班（主任研究者：大阪府立成人病センター大島明：生存率協同調査 参加登録室 全国12登録室）へ参加し、初めて生存率の計測が可能となりました。

今回は平成5年の単年のため、部位別、性別、各登録別罹患者数が少なく生存率の標準誤差が大きく、比較検討のためには数年（少なくとも3年）のデータの蓄積が必要です。今後引き続き生存率調査を実施し解析を行う予定になっています。

主要部位別（肺・胃・肝・膵・結腸・乳房・子宮）では、5年相対生存率で乳房80.5%子宮79.7%と高く、肺・肝・膵は30%以下と極めて悪い生存率を示しています。

図. 平成5年がん罹患者5年相対生存率（沖縄県）

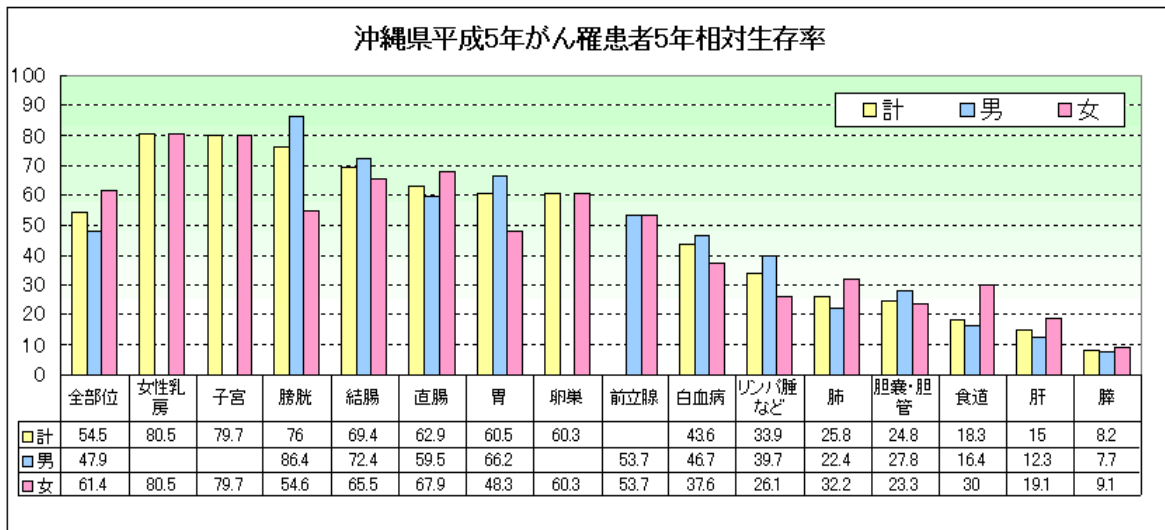


表. 平成5年がん罹患者の5年生存率（沖縄県）

	性別	対象者数	実測生存率	標準誤差	相対生存率	標準誤差
全部位	男	1,113	40.7	1.5	47.9	1.5
	女	1,040	55.8	1.6	61.4	1.6
	計	2,153	48	1.1	54.5	1.1
女性 乳房	女	163	76.8	3.4	80.5	3.4
	計	163	76.8	3.4	80.5	3.4
子宮	女	146	76.2	3.6	79.7	3.7
	計	146	76.2	3.6	79.7	3.7
膀胱	男	29	72	8.4	86.4	8.7
	女	14	41.7	13.5	54.6	14.2
	計	43	61.9	7.5	76	7.9
結腸	男	134	60.9	4.2	72.4	4.4
	女	99	58.8	5	65.5	5.1
	計	233	60	3.2	69.4	3.3

	性別	対象者数	実測生存率	標準誤差	相対生存率	標準誤差
直腸	男	63	52.4	6.3	59.5	6.4
	女	48	57.3	7.2	67.9	7.5
	計	111	54.4	4.8	62.9	4.9
胃	男	165	57.9	3.9	66.2	4
	女	76	43.2	5.7	48.3	5.8
	計	241	53.2	3.3	60.5	3.4
卵巣	女	25	58.3	10.1	60.3	10.1
	計	25	58.3	10.1	60.3	10.1
前立腺	男	39	37.5	7.9	53.7	8.5
	計	39	37.5	7.9	53.7	8.5
白血病	男	50	43.6	7.1	46.7	7.2
	女	26	34.6	9.3	37.6	9.5
	計	76	40.6	5.7	43.6	5.7
リンパ腫など	男	45	35.6	7.1	39.7	7.3
	女	34	24.3	7.5	26.1	7.6
	計	79	30.8	5.2	33.9	5.3
肺	男	201	18.3	2.8	22.4	2.9
	女	102	28	4.5	32.2	4.6
	計	303	21.6	2.4	25.8	2.5
胆嚢・胆管	男	19	21.1	9.4	27.8	10
	女	33	21.2	7.1	23.3	7.2
	計	52	21.2	5.7	24.8	5.9
食道	男	48	13.6	5.1	16.4	5.4
	女	7	28.6	14.6	30	14.7
	計	55	15.6	5	18.3	5.2
肝	男	67	10.4	3.7	12.3	3.9
	女	38	18.4	6.3	19.1	6.3
	計	105	13.3	3.3	15	3.4
膵	男	28	7.1	3.6	7.7	3.7
	女	13	7.7	3.9	9.1	4
	計	41	7.3	3.7	8.2	3.8

※平成5年罹患者は3,118人その内死亡情報のみで登録された罹患者888人(DCO/I:28.5%)及び上皮内がんを除いた2,153人を解析対象とした。

※解析方法は、Kaplan-Meier法を用いて5年実測生存率を計算し、対象がんによる生命損失の大きさをみるために、実測生存率を期待生存率で除して相対生存率を求めた。期待生存率は、0.5歳上乗せしたCohort生存率表に基づきEderer II法により計算した。